

8/3-9#1主と協力して、新しい復興をもたらし、この時代を終結させる。I. 神の選民の間に、復興されたいという切望が常にあります。**ハバクク3:2** エホバよ、あなたのみわざをこの年のうちに復興してください。**ホセア6:2** 彼は二日の後私たちを生かし、三日目に私たちを起き上がらせ... II. 私たちが新しい復興の中へと入ることができるのは、神が私たちに与えた神聖な啓示の最高峰、すなわち、神の永遠のエコノミーの啓示に到達することによります。これが、神が人を創造したことにおける、また神が彼の選ばれた人を対処することにおける、神の目的についての大きい質問に対する大きい答えです。A 神の心の中に隠された奥義は、神の永遠のエコノミーです。神の永遠のエコノミーとは、神の永遠の意図と神の心の願いであって、それはご自身を彼の神聖な三一において、御父として、御子の中で、その霊によって彼の選ばれた人々の中へと分与して、彼らの命また性質とならせることです。それによって、彼らは彼の複製として彼であるのと同じになり、有機体、新しい人としてのキリストのからだとなり、また神の豊満、神の表現となって、新エルサレムにおいて究極的に完成します。B 神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となり、キリストのからだを生み出し建造して、新エルサレムを究極的に完成するためです。これは全聖書の本質、聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」、神の永遠のエコノミーです。1 神は人の人性にあずかることによって、肉体と成ることを通して人と成りました。人は神の神性にあずかることによって、造り変えを通して、神格においてではなく命と性質において神となります。**ヨハネ1:14** そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。2 この神と人のロマンスは、全聖書の主題、神のエコノミーの内容、全宇宙の秘密です。a キリストは神であり、また人であり、彼の造り変えられた愛する者は人であり、また神です。彼らは命と性質において同じであり、互いに完全に符合しています。b 三一の神は究極的に完成されて夫となり、三部分から成る人は造り変えられて花嫁となります。彼らは一組の夫婦、団体の、大いなる神・人となります。c 神の中心的な啓示、また主の回復の中心的な啓示とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って、召会を建造し、召会がキリストのからだとなり、新エルサレムを究極的に完成するということです。**1コリ15:45** 最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。**啓5:6** 私は...ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角と七つ

の目があった。それは...神の七つの霊である。D 神と人は一つの実体となります。その一つの実体は、神性と人性のミングリングであり、新エルサレムにおいて究極的に完成し、全聖書の結論となります。E 「私が望むのは、全地のすべての召会の聖徒たち、特に同労者たちと長老たちが、この啓示を見て立ち上がり、神が私たちに新しい復興、歴史において決してなかった復興を与えてくださるようにと祈ることです」。III. 私たちが神・人の生活、すなわち、キリストのからだの実際を生きることを実行するなら、自然に団体の模範、すなわち神のエコノミーの中で生きる模範が建て上げられます。この模範は、召会の歴史における最大の復興となり、主の再臨をもたらします。A 神が必要とするのは、団体の人々が神の恵みによって、神聖な啓示の高嶺を通して起こされ、この啓示にしたがった生活をするということです。復興は、私たちが見てきたビジョンを実行することです。B キリストに従う者たちが、弟子として構成されたのは、地上でのキリストの人の生活を通してでした(キリストの人の生活は神・人の原型であり、人性においてご自身を否むことによって神を生きました。これは、人についての彼らの観念を徹底的に変えました。C 私たちの生活は、第一の神・人であるキリストの生活の原型の複写、複製であるべきです。**ピリピ1:19** というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。**マタイ11:29** 私は心の柔和なへりくだった者であるから、私のくびきを負い、私から学びなさい。D 弟子たちの中へと息吹き込まれた命と実際の霊は、彼らが三年半の間、主と共にいたとき、主について観察してきたことのすべての実際へと導きました。1 第一の神・人の務めの開始の時、彼はバプテスマされてすべての義を成就し、彼の肉によれば、彼が死と葬り以外に役に立たないことを承認しました。**マタイ3:15** 「このようにしてすべての義を成就するのは、私たちにふさわしいことである」。16 イエスはバプテスマされると、直ちに水から上がられた。すると見よ、天が彼に開かれた。そして彼は、神の霊がはどのように下って、彼の上に来るのをご覧になった。2 彼は五つのパンと二匹の魚で五千人を養った奇跡の中で、彼から学ぶようと、彼の弟子たちを訓練しました。彼が「天を見上げて」、五つのパンと二匹の魚を祝福したことが示しているのは、祝福の源が彼、すなわち遣わされた方ではなく、御父、すなわち遣わす方であることを、彼が認識していたということです。3 主は群衆と共に奇跡の結果にとどまっていたの

ではなく、彼らから去って、一人で山上で御父と共にいて祈りました。**4**主は、神と接触する生活をして、絶えず神の臨在の中で生き、また人と接触する生活をして、神を彼らの中へと供給し、彼らを神の新約エコノミーのヨベルへともたらししました。**5**彼は、この世の支配者であるサタンが、彼の中では何も持たない(何の立場もなく、何の機会もなく、何の望みもなく、いかなることにおいても何の可能性もない)人でした。**6**主の模範にしたがって神・人の生活をする唯一の道は、私たちの全存在をミングリングされた霊に付け、ミングリングされた霊にしたがって歩き、生活し、存在することです。**1**コリ6:17 しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。**7**「私たちはみな、神・人の生活をしたいと宣言すべきです。最終的に、神・人は勝利を得る者、勝利者、エルサレムの中のシオンとなります。これは歴史において決して見られたことがない新しい復興をもたらし、これはこの時代を終結させます」。**IV. 私たちが新しい復興の中へと入ることができるのは、キリストの天の務めにあずかって、彼の小羊を養い、彼の羊を牧養して、神の羊の群れを顧みることによります。神の羊の群れは召会であり、キリストのからだという結果になります。これは、使徒の務めとキリストの天の務めを合併することです:****A**私たちは、主イエスの務めにおける模範にしたがって人々を牧養し、神の永遠のエコノミーを完成する必要があります:**ヨハネ 10:10** ...私が来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。**11** 私は良い牧者である。良い牧者は羊のために自分の命を捨てる。**1**神の全体的な救いにおける神の新約エコノミー全体的な内容とは、人の子としてのキリストが私たちを罪から贖うことによって私たちをはぐくみ、彼の死を通して法理的な贖いを完成し、神の御子としてのキリストが私たちを養い、神聖な命を私たちの中へと豊かに分け与えて、彼の復活の中で有機的な救いを遂行するということです。**2**私たちが御父の愛し赦す心と、救い主の牧養し捜す霊を持たないことが、私たちが実を結ばないことの原因です。**3**私たちはイエスの人性の中で、人々をはぐくむ(彼らを幸いにし、喜ばしく心地良く感じさせる)必要があります。私たちはキリストの神性の中で、人々を養う(キリストの三つの時期の務めにおける、すべてを含むキリストをもって彼らを養う)必要があります。**4**キリストがサマリアを通過し、ことさらスカルに迂回しなければならなかったのは、一人の不道德な女を得て、ご自分に飲むものを与えるよう彼女に求めることによって彼女をはぐくみ、命の水の川としての流れる三一の神をもって彼女を養

うためでした。**5**罪のない方として、彼は姦淫の女を罪定めしたのではなく、彼女をはぐくみました。それは、法理的に彼女の罪を赦し、有機的に彼女の罪から自由にするためでした。キリストによって、彼の十字架を通して最初に救われた人が、死刑判決を受けた強盗であったことも意義深いのです。**6**主がエリコに行ったのはただ、一人の人、取税人のかしらを訪問し、得るためでした。彼の宣べ伝えることは、牧養することでした。彼はまた子供たちに手を置くことによって、彼らの両親をはぐくみました。**B**私たちは使徒パウロの模範にしたがって、人々を牧養する必要があります。パウロは養う母、また勧めをする父として聖徒たちを牧養し、神の羊の群れを顧みました:**使徒20:28** あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ...神の召会を牧養させるのです。**1**パウロがエペソの聖徒たちを牧養したのは、「公にも、また家から家でも」、彼らを教えることによって、また三年の間、涙をもって聖徒たち一人一人を訓戒し、彼らに神のみこころをすべて、余すところなく言い表すことによってでした。**2**パウロは信者たちに親密な心遣いを持ち、弱い人の水準に下って来ました。それは、彼が彼らを得ることができるためでした。**3**彼は進んで、聖徒たちのために、彼が持っているもの、すなわち彼の所有物を費やし、彼であるもの、すなわち彼の存在を費やしました。彼は注ぎのささげ物であり、ぶどう酒を生み出す者としてのキリストと一であり、自分自身を犠牲にして、他の人がキリストを享受するようにしました。**2**コリ12:15 しかし、私はあなたがたの魂のために、大いに喜んで費やし、自分自身を使い尽くしましょう。**ピリピ2:17** しかしたとえ、あなたがたの信仰のいけにえと奉仕の上に、私が注ぎのささげ物として注がれるとしても、私は喜びます。またあなたがたすべてと共に喜びます。**4**パウロは霊によって歩いて神を尊びました。それは、彼がその霊を供給して、人を尊ぶことができたためでした。**5**パウロが彼の教えの中で示したのは、召会が人々を育てる家、彼らをいやし回復する病院、彼らを教え啓発する学校であるということです。**6**彼が啓示したのは、キリストのからだを建造するために、私たちが何であっても、何を行なっても、愛が最も卓越した道であるということです。**C**「私たちがこの牧養する負担を受け入れることによって、私たちの間に真の復興があるようになることを、私は望みます。すべての召会がこの教えを受け入れ、キリストのすばらしい牧養にあずかるなら、回復の中に大きな復興があるようになります」。